

1 事業概要

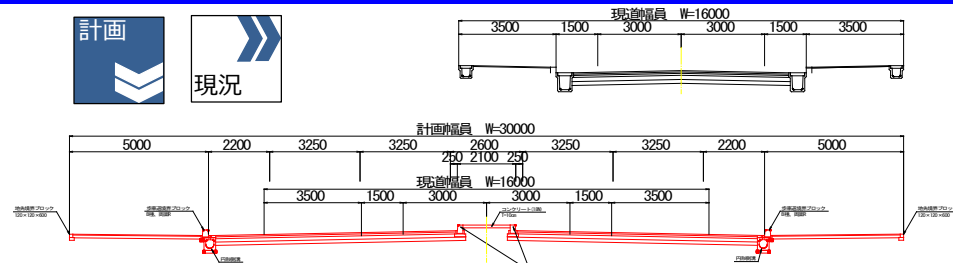
- 延長：L=480m
- 事業内容：W=30.0m (13.0 (20.0) m、歩道5.0m×2)、無電柱化
- 事業費：C=25億円 ■ 事業期間：R4～R10
- 費用対効果：1.2
- 交通量：自動車類 11,258台/12h、歩行者・自転車類 133人/h

2 整備の必要性

- 天童市中心部と東北中央自動車道天童IC、天童インター産業団地を結ぶ道路であるが、当該区間のみが2車線のボトルネックとなっており、朝夕の渋滞が散見される。
- 第一次緊急輸送道路に指定されており、沿線の天童市スポーツセンターが指定緊急避難所となっていることから、災害時における緊急車両の交通確保のため、無電柱化による都市防災機能の強化が必要である。
- 当該地区においては、平成29年度に地域住民と共に「現地調査（まち歩き）」を開催するなど、まちづくりへの機運が高まっている。

3 令和4年度着手の必要性和整備効果等

- 本路線は、令和2年4月に天童市役所へのアクセスを目的として、重要物流道路の代替・補完路に指定されたこと、また令和4年に東北中央自動車道の東根北IC～大石田村山IC間が開通予定で、交通量の増加が見込まれることから、渋滞発生防止に向けて、遅くとも令和4年度から事業に着手し、早期4車線化を図る必要がある。



▲現地調査（まち歩き）の様子①



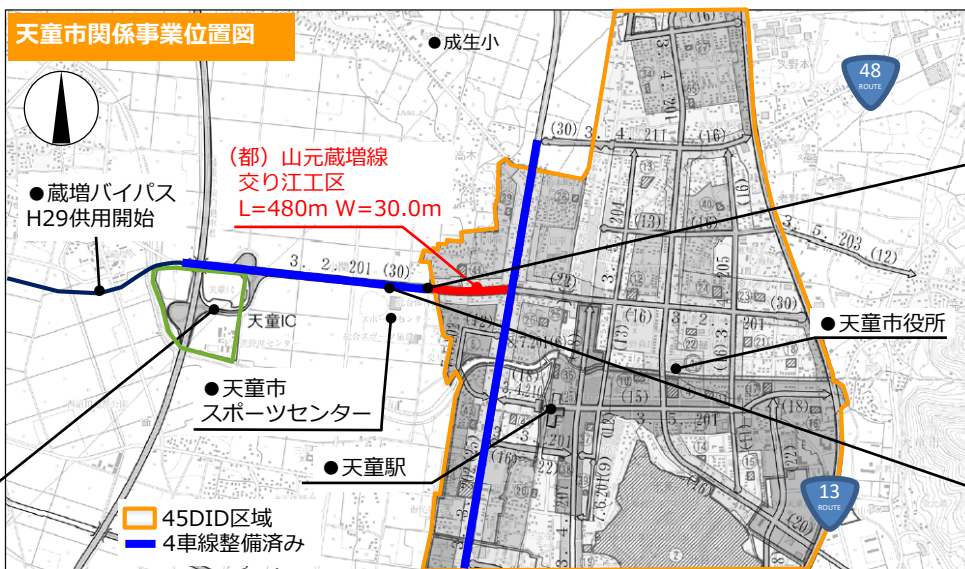
▲成生小学校児童の通学の様子



▲未改修区間（ボトルネック箇所）



▲（主）天童大江線道路ネットワーク整備事業（県事業）
L=743.3m W=30m [H22事業完了]



▲天童インターチェンジ [H14供用開始]

▲天童インター産業団地 [H28分譲完了] (流通系企業拠点)

山形県公共事業評価システム 事前評価 妥当性評価調書

I. 事業の概要

(1) 路線・河川名等	山形広域都市計画道路3・2・201号 山元蔵増線	(7) 事業期間	[着工]	令和 4 年度
(2) 担当課室名	都市計画課		[完了]	令和 10 年度
(3) 対象事業名	街路整備事業	(8) 全体事業費	2,500,000 千円	
(4) 統一事業名	街路事業	(9) 事業区別(補助・単独)	補助事業 <input checked="" type="checkbox"/>	単独事業 <input type="checkbox"/>
(5) 総合支庁名	村山総合支庁(本庁舎)	(10) 計画概要・事業の狙い	L=480m W=13.0(20.0)[30.0]m 天童市中心部と東北中央自動車道天童ICのアクセス性を向上させることにより、東根北IC～大石田村山IC間の開通後の天童ICの交通量増加に対応する。	
(6) 事業箇所	[市町村名] 天童市 [地区名] 交り江			

II. 対象事業の妥当性評価

1. 実施主体

(1) 県が実施する理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等で定められている	(法令名と法令の趣旨を記入) 都市計画法第59条第2項により、県が実施する。
	<input type="checkbox"/> 効果の及ぶ地理的範囲からみて県が実施するのが妥当	(効果の内容及ぶ当該効果の概ねの地理的範囲を記入)
	<input type="checkbox"/> その他	(上記以外の理由を記入)
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 再検討	(理由を記入) 県道(一般県道天童大江線)であるので、県で実施することが妥当

2. 費用対効果

(1) 分析対象	<input checked="" type="checkbox"/> 分析対象 [参考資料名]	国土交通省道路局、都市局「費用便益分析マニュアル」(平成30年2月)	
	<input type="checkbox"/> 分析対象外 [分析対象外とした理由]		
(2) 分析結果	便益(現在価値計): B	2,543,000 千円	
	便益算定に用いた主な指標値	[指標1]	走行時間短縮便益 [指標値] 2,510,000千円
		[指標2]	走行費用削減便益 [指標値] 3,000千円
		[指標3]	交通事故減少便益 [指標値] 30,000千円
	費用(現在価値計): C	2,166,000 千円	
費用便益比: B/C	1.2		
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 再検討	(理由を記入) B/Cが1.0を超えているため	

3. 環境への影響

(1) 自然環境	① 懸念事項	<input checked="" type="checkbox"/> 懸念事項なし <input type="checkbox"/> 懸念事項あり	(内容を記入) 市街地での現道拡幅であり、自然環境の大きな改変はない。
	② 対処方法	(懸念事項ありの場合、工法・施工方法の工夫等の対処方法を記入)	
(2) 生活環境	① 懸念事項	<input checked="" type="checkbox"/> 懸念事項なし <input type="checkbox"/> 懸念事項あり	(内容を記入) 現道拡幅により車両の走行環境が改善されるため、生活環境への影響(騒音・振動)は減少する。
	② 対処方法	(懸念事項ありの場合、工法・施工方法の工夫等の対処方法を記入)	
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 再検討	(理由を記入) 自然環境に大きな改変はなく、生活環境も改善の方向に向かうため	

4. 事業内容

(1) 求められているサービス水準	① サービス水準(現況)	車道幅員6.0m(路肩含9.0m)、歩道幅員7.0m(3.5m×2)
	② サービス水準(実施後)	車道幅員13.0m(路肩含20.0m)、歩道幅員10.0m(5.0m×2)
(2) 事業内容(当該案)	③ 当サービス水準の必要性を示す資料	道路構造令、山形県県道の構造の技術的基準等を定める条例
	① 主な事業内容	街路整備事業(現道拡幅、無電柱化)
	② 主な事業内容の位置・ルート	天童市交り江 地内
当事業内容(3)が求められる理由	③ 主な事業内容の規模	第4種1級 延長L=480m、幅員W=30.0m(車道13.0m(20.0m)、歩道10.0m)
	① 代替案の有無と理由	<input checked="" type="checkbox"/> 代替案なし (代替案ありの場合はその事業内容を、ない場合はその理由を記入) <input type="checkbox"/> 代替案あり 本路線は天童市都市計画決定路線であり、代替案はない。
	② 求められるサービス水準を実現する上で当事業内容が必要となる理由	事業規模の必要性 (代替案がある場合は当該案について代替案と比較しながら説明) 天童市内・市道清池南小畑線から東北中央自動車道天童ICまでの未整備区間480mを計上。 その他の事業内容の必要性 (代替案がある場合は当該案について代替案と比較しながら説明) 令和4年に東北中央自動車道の東根北IC～大石田村山IC間が開通予定であり、天童ICに接続する本路線の交通量の増加が見込まれるほか、本路線が重要物流道路の代替・補完路に指定されていることから、4車線化が望まれている。
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 再検討	(理由を記入) 都市計画決定どおりの事業内容であり、天童市中心部と天童IC間の円滑な交通が確保されるため、整備効果が発現できる。

5. 政策等への貢献

(1) 優先整備の必要性	① 不利益軽減の必要性	<input type="checkbox"/> 必要性なし (内容を記入) <input checked="" type="checkbox"/> 必要性あり	歩道の拡幅により歩行者、車道の拡幅により自転車の安全が確保される。
	② 事業連携効果発現の可能性	<input type="checkbox"/> 可能性なし (内容を記入) <input checked="" type="checkbox"/> 可能性あり	東北中央自動車道の東根北IC～尾花沢IC間の開通による天童ICの交通量増加に対応可能となる。
(2) 総合計画短期アクションプランでの位置づけ	<テーマ・施策・主要事業> テーマ7 地域活力と多様な交流を生み出し災害に強い県土基盤の形成	<項目> 施策3-4(1)① コンパクトな都市機能を備えた利便性の高いまちづくりの促進	(評価の考え方) 天童市が現在作成中である立地適正化計画において、居住誘導区域に予定されている地域の都市計画道路であり、当施策に合致する。
(3) やまがた「県土未来図」での位置づけ	<基本目標・施策群> 基本目標3 地域力を生み出す生活基盤づくり	<施策> 1. 都市の拠点性向上の推進	中心市街地や都市の拠点機能を高める都市計画道路の整備であり、当施策に合致する。
(4)	<施策名>		

6. 総合評価

評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 妥当(条件付き) <input type="checkbox"/> 再検討	(理由を記入) 令和4年に東北中央自動車道の東根北IC～大石田村山IC間が開通予定であり、天童ICに接続する本路線の交通量の増加が見込まれるほか、天童市役所へのアクセスを目的として、本路線が令和2年4月に重要物流道路の代替・補完路に指定されたことから、事業は妥当であると考えられる。
特記事項	<input checked="" type="checkbox"/> 特記事項なし <input type="checkbox"/> 特記事項あり	(内容を記入)